

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

平成27年9月30日 第2,343回 No. 2,108号

会長：夏目 潔 ・ 幹事：佐藤 忠幸 ・ 会員サービス委員長：柳澤 幸一

E-mail：neast-rc@valley.ne.jp

URL：http://www.valley.ne.jp/~neast-rc/

《ロータリーソング》

- 奉仕の理想

《ゲスト紹介》

- 国際ロータリー第 2600 地区
2015～2016 年度ガバナー
望月 宗敬様
- 同行者 平 利行 様
- 北信第二グループ
2015～2016 年度ガバナー補佐
小山 健英様

《会長報告》

- 皆さん、こんにちは。本日はガバナー公式訪問ということで、望月ガバナーにおかれましては、ようこそ当長野東 RC にお越しいただききました。心より歓迎申し上げます。本年度は、当クラブから小山ガバナー補佐を輩出させていただいておりますので、地区との関係がより近く感じられます。後程、望月ガバナーのお話をたっぷりお聞かせいただききたいので、本日の会長報告は手短かにさせていただきます。

今年の 10 月で当クラブが創立 50 周年を迎えるという事で、折に触れ 50 年前の設立に関わるこぼれ話や世の中の出来事等お話ししていますが、今日は 1966 年 4 月 1 日にメートル法が完全施行され、尺貫、ポンド、ヤード等が公式には使えなくなったことに関連してお話です。皆さん、長さの単位ってどの位あると思われませんか？ 20 位でしょうか？ 40 位でしょうか？ ウィキペディアであたってみるとざっと 76 種類ありました。光速を表す光年、光時、海で使われる 200 海里の海里、ハロン、丈等以外にも見たことも聞いたことも無い単

位がめじろおしです。それぞれの専門分野で必要な単位って沢山あることに驚きました。ちなみに重さの単位はざっと 49 種類ありました。他にも面積や体積を表す単位の種類もそれぞれ数十種類あります。現在、善光寺の重文の経堂の大規模な修理を実施しておりますが、それぞれの寸法取や配置をきめた単位が勿論メートルではありませんが、昔の尺や鯨尺でも若干のズレがあり、監理をしている公益財団法人文化財建造物保存技術協会の担当が調査したところ一部で使用されていた独特の単位で計算されて、建造されたようです。昔の人の知恵には測りきれないものがあります。完成すると報告書が出ますので、興味のある方はどうぞ。本日はこのくらいで終わらせていただきます。

《幹事報告》

- 塩尻北ロータリークラブより事務所移転のお知らせが届いております。
新事務所
〒399-0737
塩尻市大門八番町 4-21
ホテル中村屋 1 階
電話 0263-54-5600
FAX 0263-54-5543
- 長野西ロータリークラブよりメールアドレス変更のお知らせが届いております。
10 月 1 日より
nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp
- 例会変更のお知らせ
上田西 RC 10 月 8 日(木)夜間例会の為、
時間と場所を変更いたします。
*例会変更をいたします。

10月15日(木)例会日を変更いたします。

*定刻受付をいたします。

10月29日(木)定款に基づく休会。

*定刻受付はいたしません。

上田六文銭 RC 10月20日(火)ガバナー公式訪問の為、例会日を変更いたします。

*定刻受付をいたします。

11月3日(火)祝日の為、休会いたします。

*定刻受付はいたしません。

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数 62名	31名	31名	50.00%
前々回 9月9日		訂正出席率	73.58%

《ニコニコボックス》

○ 本日訪問させていただきます。小山ガバナー補佐様には大変お世話になっております。日頃のロータリー活動に敬意を表しますと共に貴クラブの益々のご活躍にご期待申し上げます。本日はよろしく願いいたします。 望月宗敬ガバナー

○ お久しぶりです。以前お世話になっておりました。本日はよろしく願いいたします。 平 利行様

○ 望月ガバナーを歓迎いたします。

○ ご無沙汰をお詫びします。

土屋 磯司君

○ 望月ガバナーの来訪を心より歓迎いたします。健康には留意され、益々のご活躍を祈念いたします。 岡宮 照行君

○ 望月ガバナーのご来訪を心より歓迎いたします! 横田 一尊君

○ 久しぶりです。「何となく」で申し訳ありません。がんばって出席します。

山田 康裕君

○ このたびエムウェーブはIOCのオリンピック記念館ネットワークに加盟することが承認されました。国内初の快挙です。

土屋龍一郎君

○ 望月宗敬ガバナー、ようこそおいでくださいました。長野東ロータリークラブ一同歓迎申し上げます。 夏目会長・佐藤幹事

○ 25日、26日京都にて全国インターアクト研究会が開催されました。千村文化学園長野インターアクトクラブ顧問の活動報告。

26年の活動は全国の関係者も感心していました。全国にはロータリアンとインターアクトの関わりが強い地区もあり、是非皆さんにも積極的に関わっていただきたいと思っております。

佐藤幹事

《委員会報告》

○ 奥山親睦担当

本日皆様にご案内させていただきましたが、10月14日は創立記念例会となります。当日は特別料理もご用意しておりますので、是非大勢の皆様のご出席をお願いいたします。

《本日のプログラム》

○ ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2600地区

2015～2016年度

ガバナー 望月 宗敬様



《10月7日のプログラム》

○ クラブフォーラム

《10月7日のメニュー》

○ 新そば定食

・エビと野菜の天ぷら

・野菜の炊き合せ 鶏そぼろ仕立て

・ネギトロ巻き

・新そば

・果物

＝次週例会予告＝

《10月14日のプログラム》

○ 創立記念例会

時間：18：00～例会

引き続き懇親会

場所：ホテル国際21「芙蓉の間」

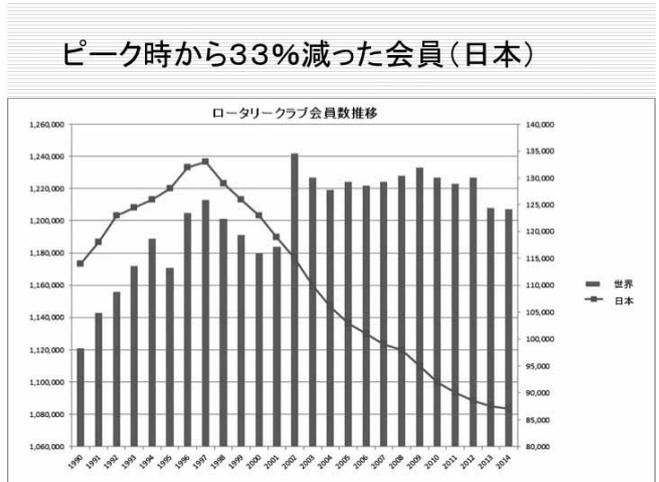
〈1〉

思い起こそう
ロータリーの心と原点

配 12

国際ロータリー第2600地区
2015-2016
ガバナー 望月 宗 敬

〈4〉



〈2〉

2015~2016 RI会長方針
K. R. ラビンドラン会長(スリランカ)

「世界へのプレゼントになろう」
[Be a gift to the world]

才能、知識、能力、努力そして献身と熱意など
誰でも与えることのできる何かをもっている。
ロータリーを通じて、これらを世界(地域)に
プレゼントすることで誰かの人生に、そして世界
に、真の変化を起こすことができる。
「ロータリーの行動規範」第5項削除は疑問

〈5〉

ロータリーの変化

- ①1905年~1960年代 ⇒ 外部的には無変化
「決議23-34」(I Serve・ We Serve)
- ②1960年代~1980年代 ⇒ 変化の発生(外部活動開始)
・62年→IA ・68年→RA ・75年→RYLA ・日本→米山・YE
- ③1980年代~2000年 ⇒ 大きな変化(RIの活動)
・83年→R財団法人化
・85年→ポリオ→決議23-34に違反するとの反対意見
- ④2000年以降 ⇒ 革命的变化「奉仕の第2世紀」
・02年→DLP・04年→CLP・10年→「RI戦略計画」
・13年→「未来の夢計画」
「今ロータリーは維新の真只中にある」「混沌」→私見

〈3〉

RI第2600地区方針

- 「プレゼントできる何か？」→自己の職業を通しての奉仕
- 地区標語
「思い起こそう ロータリーの心と原点」
○ 決議23-34と職業奉仕→「職業奉仕の見える化」
○ 「例会」と「職業分類」
- 行動指針
「今 見直しに勇気を！」
○ 地区財政・運営・組織の見直し
○ 地区事務所の設置固定化

〈6〉

ロータリーの黎明期(1905~1923)

- 1905年 ロータリー創設
- 1908年 チェス・ベリー入会→RIの骨格形成
- 1908年 アーサー・シェルドン入会→精神的骨格形成
「経営の科学とは奉仕の科学である」→職業奉仕の原点
「最も奉仕する者最も多く報われる」
- 1911年 フランク・コリンズ 「超我の奉仕」
- 1917年 Melvin Jones(メルビン・ジョウンズ)
(ロータリーを退会)“We Serve”と叫ぶライオンズを設立
- 1918年 エドガー・アレン→障害児支援への要請→分裂?
- 1923年 「決議23-34 セントルイス宣言」採択

<7>

I serve と We Serve どこが違うの？

- We Serveは、個々の力を融合し結集させ、大きな集団奉仕の成果を上げることがGoal(目的)です。
- I Serveは、個々の力を集め協力して、大きな集団奉仕を行うところまでは、We Serveと同じです。
- しかしこれは、決議23-34の説くようにGoalではなくTrainingです。
- 即ち、個々の奉仕「I Serve」のための訓練です。訓練によって、より高い個々の力を集めて、より高い集団奉仕を行います。
- しかしこれもまた、さらに高い個々の奉仕へ向かう訓練。

<10>

「職業奉仕」はロータリーの根幹 (ロータリーは職業人の集団「職業分類」)

- 個々の力を結集して行う奉仕活動は、すべて自己研鑽のためにあり、I Serveの精神を磨くためにある。
磨き上げたI Serveの究極にあるものが職業奉仕です。
- ロータリーにおけるあらゆる奉仕活動は、人間性向上の修練のためにあり、修業の結果を世に問うことが職業奉仕です。

<8>

決議23-34の意味するところ

- 根本問題として、ロータリーは、自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感と、それに伴う衝動との間に常に起こる争いを和解させようとする人生の哲学である
- ロータリークラブの社会奉仕活動は、ロータリー・クラブの会員を、奉仕という点で訓練しようとする実験としてのみ考慮するべきである
- 2010年COL→第一項を奉仕の哲学として使用する決議(圧倒的多数)→小船井PGの演説

<11>

「ロータリーの例会は人生の道場」 (米山梅吉)

- 「例会に出ると童心にかえる」:ポール・ハリス
「例会の1時間は神様になる時間」:某先輩
- 周りは皆信頼できる仲間だけ、他人のことや社会問題等を考えるゆとりが出る。
- 善意の芽が育ち、考えていた奉仕を実行に移す決意が生まれる。
- 例会は重要
「参加者の心に深い感銘を与える例会を」

<9>

職業(社会)奉仕の変遷

- 1915年「道徳律」採択→自分の企業に適用する運動へ「レストラン業界の道徳律」→ガイ・ガンディカー
- 1920年 禁酒法 アル・カポネ率いるマフィアの台頭
- 1920年~1930年 職業奉仕の爛熟期
- 1923年「決議23-34」~社会・経済スタイルの変化
- 1987年「職業奉仕に関する声明」→クラブと会員の責務
- 1992年「決議92-286」→RIが実践例を提案できる
- 2014年「職業奉仕に関する声明」→R章典へ掲載
- 2014年10月「ロータリアンの行動規範」5項目→4へ相互扶助の世界に戻り、職業奉仕はシェルドンとともに消滅の危機

<12>

ロータリー活動は 「担雪埋井」の心で

- 稽古とは 一より習ひ十を知り
十よりかへる もとのその一
(利休道歌)
- ロータリーは 一より学び十を知り
十よりかへる もとのその一
- ロータリアンに定年はありません。ロータリー活動にも終結はありません。生涯勉強です。